

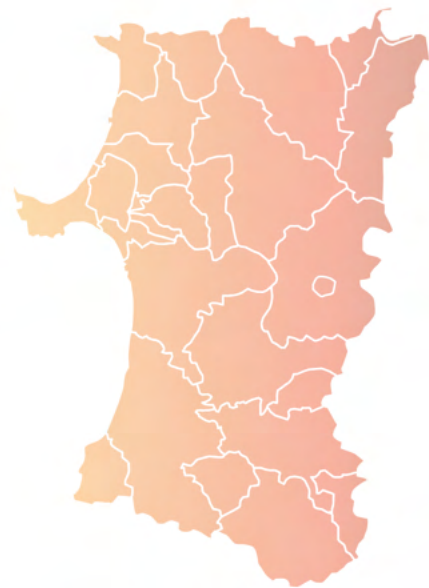
Akita

秋田県

秋田県がん登録室



カニくま



秋田県の概要

秋田県は東北地方北西部の日本海側に位置する自然豊かな土地です。人口は96万人程と少ないですが、犯罪率も低く、また米と酒と魚の産地で有名な美食の地であり、近年は比内地鶏といった畜産や、枝豆といった農業でも生産を上げています。2021年には秋田名物駅弁の「鶏めし」がフランス・パリ駅構内で販売され人気を博しています。

秋田県のがん登録事業

秋田県は、がん死亡率が全国的にも高い水準で推移しております。そこで、有効ながん対策として予防推進を確立させる必要があり、これまで胃がん・大腸がんの臓器がん登録を行っていました。その実績と経験を活かし平成18年より全がんの地域がん登録事業を開始することになりました。

実施にあたっては秋田県地域がん登録委員会を設置し、秋田県医師会からの協力を得て取り組んでおります。また、がん診療連携拠点病院に指定された10病院(地域がん診療病院含む)と連携を図りながら秋田県内全体にて取り組む姿勢であります。

実務におきましては、秋田県より委託を請けた秋田県総合保健センター内に疾病登録室を設け、畠山室長の指導のもと専任事務員2名にて担当しております。疾病登録室では、標準項目に対応できるようにシステムを独自に開発し、登録精度の向上・利便性を追求しています。

実績としては2013年に全国がん登録協議会学術集会を開催。翌年の三重県大会において、最優秀ポスター賞を受賞しました。また、その成果と功績を称えられ2018年、日本がん登録学会においてGold認定を受けています。

そして2021年、前年まで長年にわたってがん登録に携わり、がん検診の受診推進や県内のがんの実態調査にも貢献した戸堀文雄前室長(秋田県総合保健事業団)が日本対がん協会賞を受賞することができました。2021年度がん征圧全国大会(宮崎大会)の授賞式は県内でも注目され、秋田魁新報やAAB秋田放送など多くの多くのメディアで取り上げられました。

戸堀前室長はがん検診推進キャンペーンのCM出演も行っており、この活発ながん対策活動が秋田県内では大きな評価を得ています。



最後に

今後の活動としてはまず、協力医療機関全体の登録水準底上げのため、オンライン研修の開催を目指しています。がん・生活習慣病対策班(秋田県庁)と連携し、専用ホームページ解説などの準備を行っています。これにより長年発生している院内がん登録との認識齟齬を埋めていくことを目下の目標としています。